

学校だより 10月号

令和4年10月3日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

思いやりキャンペーン実施します！！

校長 棚澤 大輔

まだ暑さが残る8月29日から始まった2学期でしたが、1か月を過ぎた今では朝夕の涼しさを感じる時季となりました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、9月半ばから秋らしさが感じられるようになり、田では稲刈り、土手にはコスモス、夜には虫の鳴き声も聞こえてきています。本校周辺は四季を感じることでできる素敵な地域だとあらためて感じます。

さて、本校では先日「思いやりキャンペーン集会」を実施しました。この集会は本校の特色ある教育活動の一つである「思いやりキャンペーン」の口火を切るものです。このキャンペーンは、「一人一人の個性を認め、児童が思いやりの心をもった望ましい人間関係を築くこと」、「いじめのない安心・安全な教育環境を児童自身が築いていけるよう、自主的・実践的な生活態度を育てること」を目的としています。具体的には、6年生が中心となって集会活動の準備が行われ、「言われてうれしい言葉アンケート」の実施と集計、児童からのマスコット絵の募集、いじめゼロのための思いやり大使による活動など、児童の主体的な取組を多く行っていくものです。



活動の一つである「言われてうれしい言葉アンケート」の結果については、3位が「がんばれ」、2位が「すごいね」、そして1位が「ありがとう」でした。これらの言葉は子どもも大人も関係なく、「うれしい」と感じる言葉ですよね。これらを言い換えると、「応援」、「承認」、「感謝」と私は捉えました。これらの言葉は人と人とが関わることで生まれてくるものです。やはり人は一人ではなく、他者とともによりよい関係を築きながら生活していくことが、自分にとって心地よい環境であり、うれしさにつながるのだとあらためて感じた次第です。

こうした、お互いに「言われてうれしい」言葉が飛び交い、常にシャワーのように子どもたちに降り注ぐ、そんな環境を本校では目指していきます。時には「うれしくない」言葉も聞かれるかもしれませんが、しかし、その時こそ相手の気持ちを考えるよい機会とし、みんなで成長していけたらと考えています。

「言われてうれしい」言葉に包まれることで、思いやりをもち望ましい人間関係が築ける小谷っ子となるよう、教職員一同指導を続けてまいります。保護者の皆様や地域の皆様にもご協力いただければと存じます。ともに子どもたちの成長を支援していきましょう。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

